

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校		
○保護者評価実施期間	令和7年11月3日 ～ 令和7年12月29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名 (回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年11月3日 ～ 令和7年12月29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名 (回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・フィードバックの時間において、①本日の支援の内容と②その支援から見てきたお子様の様子、これらを常に共有するようしている事。また、共有時に③都度親御様からの心配事を聞いている点。	・左記の③が親御様から出て来た時に、都度こども園等に連絡を入れて、利用児さんの情報を共有する一方で、きらりで行っている支援を提示しながら、利用児さんが馴染みやすい環境構築に努めている。	・今後は情報を共有した施設の方々にも、当施設へ容易に来られるよう働きかける事で、より利用児さんの関わりを見える化し、同じような支援が確保出来るよう図っていく。
2	・相談支援事業所との情報共有だけでなく、保健師（当施設内の区役所以外も含める）とも多くの利用児の方や利用希望児さんの情報を共有している。	・保健師とより多くの情報を共有できるように、保健師から見学希望があった家庭には、定期的に利用児さんの支援における進展具合や緊急を有する情報を提示確認し合い、ご家庭の不安等を迅速に減らせるよう取り組んでいる。	・現在は、浜名区、天竜区ほ保健師との連携は出来ている。しかし、まだ旧東区との関わりは希薄な為、今後より関係が強化できるように連絡を取っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室内のスペースに「狭さ」さを感じさせている。	・ワンフロアで3件の支援を行っている事と、そのフロア内をパーテーションで区切ったり、一定数以上の「机やイス」があったりする為。	・パーテーションの置き方や机、備品等の置き方を自校舎のみならず、他校舎にも置けるかどうかを確認しながら、できる限り利用児に狭さを感じさせないように取り計らっていく。
2	・父母の会の回数が少ないかもしれない。（保護者間の交流機会が少ないかもしれない）	・現状、ファミリーカフェを介して、保護者間の共有は出来ていると感じていたと捉えていた点が課題と見ている。	・今後は、保護者会の希望を取る取り組みも行いつつ、親御様にアンケートを取りながら、今一度保護者会の回数を聞いていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

24名

回収数

13名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2	0	0	・少し狭いと感じる。	・バージョンの在り方や机等の配置を今一度確認しながら、適切なスペースが確保できるよう対応いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0	・1対1で対応して丁寧に見てくれている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1	0	0	・いつも伸び伸び楽しんで活動が出来ていると思います。 ・活動に使わない物も多くおいてあるので気が散る事がある。	・今一度、支援室内の物における置き方を考えていくように対応していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0	・どういう子で何が長所で課題かが苦手で不慣れかを見てくれている。 ・本人の課題に合ったプログラムを受けることが出来ています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	1		・支援プログラムに関しては、ホームページや校舎にも掲示させています。内容等に疑問がある際は、都度管理者が説明致しますので、気軽に聞いて貰えればと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0	・子どもに合った支援内容を提供してくれている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0	毎回同じではなく、内容を組み合わせて子どもに必要な支援をしてきている。 ・毎回工夫されていて違う工作を考えてくれているので、娘もとても楽しみにしています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	5	・他の園に通っている子と一緒に遊びを楽しんでいる日もあり楽しそうです。	・現在は、職員訪問等を介して「情報」の共有しながら、お子様へのより良いサポート環境の構築には努めておりますが、交流までの拡充までは達していない為、今後努力していく所存です。
保護 者へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5	1	3	・通い始めたばかりなので分からないが、機会があると聞いている。	・ペアレントトレーニングに対しては、モニタリング時に必要とされる方へ児発費から提示対応しておりますので、今後も要望や相談を受け次第、対応していく所存です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1	0	0	・1回の教室後必ずフィードバックがある。 ・子どもの事を気にかけて頂き、成長した部分やこれから伸ばしていきたい事など声を掛けて頂いています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0	・子どもを見て、親・保護者に寄り添った言葉かけをしてくれている。	・温かいご意見、大変ありがとうございます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	2	5	・イベントのお知らせをしている。	・父母の会や保護者会は、年2回程のファミリーカフェを中心に、関係性が築けるよう行ってきましたが、今後は行う頻度検討し直し、更に皆様との交流が進むよう測っていると考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0	・必要ことは伝えてくれてフィードバックもしてくれている。	・温かいご意見、大変ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	3		都度ホームページを更新しながら、教室の様子も随時伝わるよう対応しています。また、ホームページの更新速度やその日の活動、行事の有無が気になる際は、管理者へお声を掛けて頂ければありがたいです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	0	2	・発災時の説明は受けたが、防犯に対する説明は受けていないように思う。	・様々なマニュアルに関しては、校舎玄関入り内に退治されていますが、今後は更に皆様の目の届く様に、そして随時説明等しながら対応していく所存です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	1	3	・訓練が実施されているかどうかは知らされていない。	・訓練等に関してはホームページ等を介して提示しておりますが、今後は更に皆様の目の届く形で分かるように、そして随時説明等しながら対応していく所存です。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	1	・何かあれば連絡をくれている。	・事故に関しては、事故が起こらないように環境の作り方等の研修は行っています。ただ、事故やクレーム等が発生した際は、上長との連携を含めて、早期連絡対応を図っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1	0	0	・嫌がることなく楽しく通えている。一人で教室に行く事が出来ている。	・温かいご意見、大変ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0	・先生や友だちとも仲良く楽しくでき、今日は何作かな〜？と作成を楽しみにしている。	・温かいご意見、大変ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	・休みも少なく月4ペースで振替もスムーズにしてくれている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026 年 2 月 14 日				
こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・移動可能なパーテーションで区切って対応をしている。部屋の都合上、1時間に対する人数を制限し、適切なスペースを確保している。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準人員に加えて、その他複数の職員の在在を置いて、手厚く支援するようは図っている。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・段差がないようスロープを確保したり、パーテーションなどで視覚情報を制限しながら落ち着いた環境を整えている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・感染症対策委員の対処の下、会社が提示する消毒ルールに沿って、感染症を防ぐ取り組みを行っている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・気分が高揚したり怒りが増幅した際には、防音壁で囲った簡易的なシェルターを用意したり、場合によっては面談室を使用できるようにしている。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・昨年度同様に、PDCAサイクルに関しては、職員間の申し送りをして、振り返りを行いつつ、その情報を持って各位の支援に生かそうと皆一堂に取り組んでいる。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・校舎内に評価集計を提示し「見える化」の下で、保護者からのお言葉を受けて入れながら改善に務めるよう努力している。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・常に意見や思い、考えを伝えられるような環境を整えている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・相談支援事業所や保健師、その他諸々の方の出入りを設けて、見学評価できる機会をも用意している。また、社内における監督対応で正しい運営が進んでいるかを確認している。	・第三者評価は行っていないが、今後法人に確認を進めていく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・内外部門問わず、定期的に研修を実施し、知識や技術の構築に努めている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムは作成されており、その理念が見えるよう居室に提示している。その内容を基にして、校舎運営や支援運営が回るよう取り計らっている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントに関しては本児だけでなく、家庭状況、親御様の思い等も加えながら、計画作成の糧にしている。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援計画を作成後、周知確認という観点から、個別支援会議を設けて話し合う場を設けている。その上で本案の作成に努めている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・左記の記載通り、計画に沿って支援が展開されている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・場合によって、職員が太田Stageなどを用いて評価を実施している。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・モニタリングやサービス担当者会議、かけはしシート等をおこないながら地域連携も含めた支援体制を構築している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・記録媒体を統一しており、職員が把握できる環境を整えている。また日頃から相談しながら活動内容を話合っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・上記同様に、記録や朝礼等での振り返りの下で、個別のニーズに合わせて配慮している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・時間を調整して、個別と集団との時間を図り合い、各位が両方の支援対応を適宜に連携しながら行うようにしている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・項目19の解答と同様		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・支援後ではないが、次の日の朝礼で確認するよう取り計らっている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・記録は概ね数日以内に完成させ、次回支援に入る職員にきちんと参考となり得るような徹底がなされている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・概ね6ヶ月を基盤として、モニタリングを進めつつ、計画作成を材料にしながら次回の計画を作成している。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・サービス担当者会議では、児発管だけでなく、指導員の参加も見えるよう必ず配慮し対応へ当たる。 (Zoomなどの活用もして、複数人が参画できるようにしている。)		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	相談支援事業所や保育所の担当者が随時見学に来訪できるようにしつつ、こちらもTELや訪問を通じて連携出来る体制を整えている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・関係機関における連携は図るよう尽力（情報共有という形で会議を有しながら対応に当たる）しつつ、また25項目の記載にもあるように、担当者の往来をもつて確認だけでなく、視覚化をも通して児に様子が伝わるよう取り計らっている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・浜松市が推奨する「サポートかけはしシート」を用いながら切れ目のない支援や福祉体制を構築している。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・地域の発達支援センターとも連携を取りながら、研修や会議に参加しながら助言やアドバイスを受けている。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・必ずしも交流というものは行えていないが、利用児の様子を鑑み、親御様からの依頼を受ければ、園との連携の下で訪問を行うよう取り計らっている。	・利用児の多くが、園との並行利用児の為、交流という部分に対しては、今後の課題となっている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・親御様にはフィードバックという形で、当日行った計画の意図やその様子、今後の展望を伝える。この行為を介して、常の課題における共通認識を進めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・年2回ほどのファミリーカフェを行い、家族等の参加できる研修の機会や情報提供を設けている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時には、運営規定の説明を重要事項説明書を介して適宜に分かりやすい言葉まで言葉を書き説明を行っている。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・サービス等利用計画を参照し、モニタリングでは親御さんへ再度主訴の部分を振り返りながら、その意向や主訴に近づけるように5領域を介して確認するよう努めている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・計画説明に関しては36項の部分で聞き取った内容を具現化した事、加えて再度その意向が反映しているかを親御様の確認の上で同意を取っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・時には支援の様子を見学して頂きながら、悩みを共有して問題解決に努めている。(家族支援における相談も場も設けるように取り組んでいる。)	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・上記でも記載したファミリーカフェを介して、研修等の合間に交流できる機会(サロン型)を設けて、交流できるよう取り計らっている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		緊急性があった場合は、相談支援事業所にも連絡を行い、情報共有を行っている。また、サービス担当者会議に参加したり関係連携を行える体制を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・現在は主にブログで、校舎内における様子を発信して対応している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報保護に重視する書類への説明を契約時には適切に行い、その上でブログ等ではお子様の顔や不参加希望の意向を必ず尊重して事に当たるよう対応している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・外国籍の方にも分かるような簡略した言葉での話し方は、常に意識して行うよう対応している。(時折、通訳も立てている。)	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・当校舎はテナント内に在る為、地域住民との接点は少ないが、テナント内における交流は、消火訓練、購買への協力等で関わりを築いている。	・校舎の立地上の観点から地域住民となると、テナント同士が地域住民となる為、左記のような関わりが主になる。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルに関しては、業務継続計画も含めて用意されているものもあり、訓練も都度家族へ周知を図りつつ行っている。(チラシと事前の通達にて、周知を図っている。)	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月一単位必要な訓練を行っている。また、防災用品等の確認も都度行う一方で、児や家族含めて、防災への意識を高めるような対応も行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時の基本情報シートに記載をして頂けるように配慮している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・昨年同様、アセスメント・基本情報からの確認と面談時における状態での確認で留めている。(基本食べ物を与えていない為、このような形に終始している。)	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・計画の作成は玄関前にある運営規定等で周知できるよう取り計らっている。(また、会社内で研修も行いながら、安全対策の在り方を都度確認している。)	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に関しては、親御様には重要事項説明書での説明で対応する一方で、見学時等に説明の場を持つよう心掛けている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが提示された段階で、全体で共有する一方で、再発防止の案も出し合いながら、再発防止に努めている。(上長の確認も取るように取り計らっている。)	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・昨年に続き、月一で虐待における認識の確認を進める一方、委員は外部研修の参加を促しつつ、その内容を各職員に落としながら説明するなど、適宜に内外問わずに研修を進めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・重要事項説明書を介して、一連の内容を説明し、計画へ取り入れるよう心がけている。	